

○どこでも積極的にあいさつができる子 ○個性を生かし主体的・対話的に課題解決する子 ○進んで思いやりのある行動がとれる子

# 北大和小だより 祝卒業号

令和4年3月18日  
大和市立北大和小学校  
〒242-0001 大和市下鶴間685  
ホームページ <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-kita/>



## 「ゆっくり」「しっかり」

春の陽気を感じる日が増え、桜の開花に先立ち、学校の白木蓮の大木の花は満開となりました。その中で、大和市立北大和小学校の6年生は第74回卒業生として、小学校の過程を終了し卒業となりました。

6年生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。小学校教育へのご理解お力添え誠にありがとうございました。

卒業式は人生の大きな節目として、特に小学校の卒業式は、児童から生徒への自立に向けた成長過程の大切な通過点となります。それは、子供らしくいる時期から、大人になる準備を進める時期に入るとも言えます。たくさんの支えの中で小学校生活を送り、そこで培った力をベースに、「自立」に向けて一步を踏み出すこととなります。「ゆっくり」「しっかり」。

そんな、節目の卒業式の日、この日を迎えるまでに、教室では今までの小学校生活を振り返り、自分を見つめ、支えてくれた家族や友達、先生や地域、関係機関の多くの方々のこと、校舎や教室、学校以外の居場所やつながりを見つめる学習をしてきました。



この卒業の節目に、前向きにこれからの生活に一人一人が向き合ってほしいと思います。ほかの人と比べる必要はありません。自分が培ってきた良さを見つめて育んでいくことが大切です。

知らない世界に向かう不安もあるかと思いますが、自立といっても急には無理です。慣れるまでには緊張したり、迷ったりすることも多いかと思いますが。

保護者の皆様、自立に向けてこれからも子供たちの見守りをお願いいたします。小学生への見守りと中学生への見守りは、「いつも寄り添う」から「必要な時に寄り添う」へと少し見方を変える必要があるかと思いますが。子供たち一人一人の力と成長を信じて、少し先を見ながら大きく支えていただけると幸いです。



今年もコロナ禍で我慢をすることが多くありました。その中で子供たちが自分のできることを前向きに取り組む姿に、心が温くなる場面が多くありました。今年の6年生の素晴らしさを、卒業の姿を、今後、在校生に話していきたいと考えます。

校長

「ゆっくり」「しっかり」「できることを」「一歩ずつ」「前へ」